


# 第7回境川かわまちづくり推進協議会

## 説明資料

- 
- ①今年度の取組状況について
  - ②運営体制について
  - ③成果と評価について
  - ④今後の予定
- 

# ①今年度の取組状況について

---

①-1 活動実績とりまとめ

①-2 個別活動状況の報告

(水質調査/歴史ガイドモニターツアー/親水テラス検討)

# ①-1 活動実績とりまとめ

令和7年度は、従来のイベントを継続して実施するとともに、新たな環境調査やイベント等の取組を実施し、継続事業の定着と新たな活動の創出が進んだ。

活動	部会			主催	エリア			実施回数	
	水・自然環境	歴史・文化	水辺・水面利用		元町	中町	新町	R6	R7
境川水質調査	●			進める会	●	●		0	11
境川クリーンアップ	●			市民団体	●	●	●	3	3
親子はじめてハゼ釣り教室	●			市民団体			●	1	1
境川みんなのかわまち春	●	●	●	進める会	●			1	1
境川で天の川・水辺で乾杯			●	進める会		●		1	1
境川Mizubeミュージック			●	市民団体		●		1	1
Eボート千葉大会			●	市民団体	●			1	1
景観まちづくり見学会		●		市民団体	-	-	-	1	1
境川みんなのかわまちマルシェ			●	進める会		●		0	1
親水テラスワークショップ			●	進める会		●		0	1
みんなdeかわまち			●	進める会	●			0	1
歴史ガイドモニターツアー		●		進める会	●			0	1
境川かわまちさくらカフェ			●	進める会			●	1	1
合計	4	3	8	合計	6	6	3	10	25

※着色項目は今年度新規で実施した活動

# 【参考】年間活動一覧

【 】：関係団体主催

年	月	日	関連出来事
令和7年度	4月	26,27日(土,日)	境川みんなのかわまち春 ※浦安市民まつりと同時開催
	6月	8日(日)	定期調査、全国一斉調査
		30日(月)	シンポジウムの動画をYouTubeで公開 ※134回視聴(3月中現在)
	7月	6,7日(日,月)	境川で天の川・水辺で乾杯
		20日(日)	【親子はじめてハゼ釣り教室】
		21,27日(月,日)	境川水質調査(定期&水門操作時調査)
	8月	21日(木)	境川水質調査(定期&水門操作時調査)
	9月	6日(土)	【CHIBA FESTIVAL in浦安】
		15日(月)	境川水質調査(定期調査)
		28日(日)	【第25回境川クリーンアップ】【境川Mizubeミュージック】
	10月	4日(土)	境川水質調査(定期&水門操作時調査)
	11月	1日(土)	境川水質調査(定期調査)
		9日(日)	【第12回Eポート千葉大会in浦安】
		16日(日)	【第26回境川クリーンアップ】
		26日(水)	【令和7年度浦安景観まちづくり先進事例見学会】 ※千葉県香取市(佐原)
	12月	5,6日(金,土)	境川水質調査(定期&水位低下時調査)
		7日(日)	境川みんなのかわまちマルシェ
		23日(火)	第6回境川かわまちづくり推進協議会
	1月	12日(月)	境川水質調査(定期)
		17日(土)	第9回境川かわまちを進める会
	2月	7日(土)	第1回境川親水テラスワークショップ
		11日(水)	境川水質調査(定期)
	3月	7日(土)	みんなdeかわまち(かわまち×浦安藝大)
		13日(金)	歴史ガイドモニターツアー
		14日(土)	境川水質調査(定期)
		23日(月)	第7回境川かわまちづくり推進協議会(本日)
		28日(土)	境川かわまちさくらカフェ



# 【参考】進める会主催イベントの開催エリア

## 【令和7年度イベント 実施マップ】(進める会主催イベントのみ)

※青字は今後開催予定

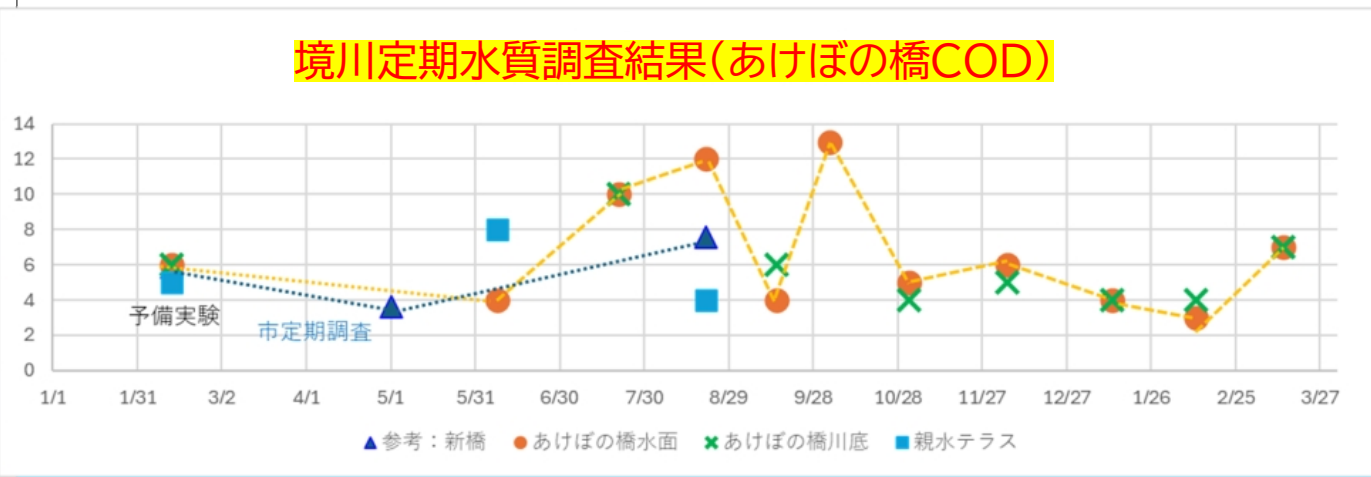
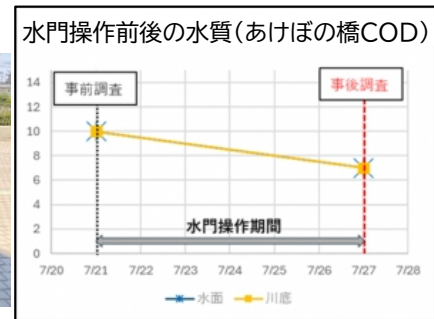


## R7年水質調査結果(概要)

- ・ R7年度の水質調査としては、一年間の水質の変化を調べるために毎月行う定期調査や、東・西水門の操作などに伴う水門間の河川水の入替えによる水質改善効果の調査などを行った。
- ・ 調査地点は、水質悪化がよく言われる東・西水門の間を中心に、調査内容に応じて調査地点を設定した。
- ・ 水質調査項目は、参加者が簡単に分析できる簡易キットのCOD（化学的酸素要求量）やDO（溶存酸素）、目視で濁り具合を測定する透視度を対象とした。
- ・ 水の汚濁指標のCODでは、7月から10月にかけては水質が悪化した結果となった。ただし、水門の操作のタイミングなどの条件によっては、水質が改善することもみられた。
- ・ 水門操作時の水質改善調査では、1週間程度干潮時に合わせて水門を開放することをを行った前後の水質が改善することが見られた。



調査日	実験内容
6月8日	① 定期調査 (6月) ② 全国一斉調査
7月21日	① 定期調査 (7月) ② 水門操作時調査 (1週間効果:事前)
7月27日	① 水門操作時調査 (1週間効果:事後)
8月21日	① 定期調査 (8月) ② 水門操作時調査 (1回操作効果)
9月15日	① 定期調査 (9月)
10月4日	① 定期調査 (10月) ② 水門操作時調査 (ポンプ効果)
11月1日	① 定期調査 (11月)
12月5,6日	① 定期調査 (12月) ② 水位低下時調査
1月12日	① 定期調査 (1月)
2月11日	① 定期調査 (2月)
3月14日	① 定期調査 (3月)





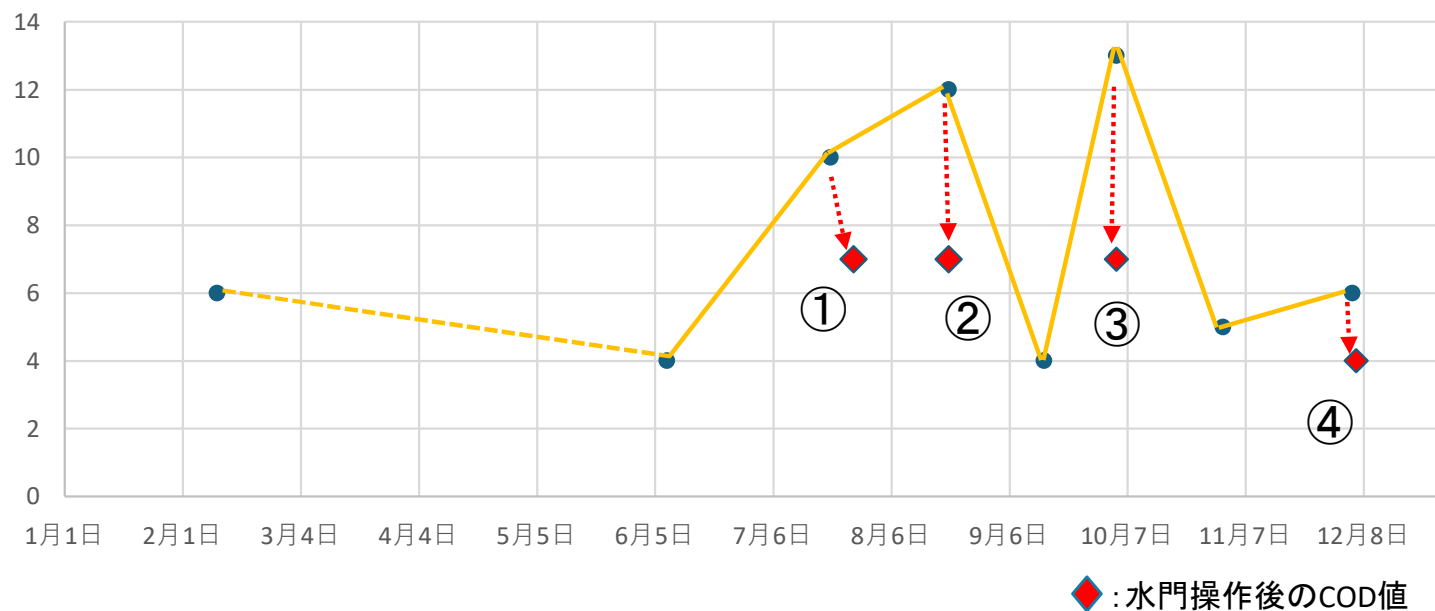
## R7年水質調査結果(概要)

### 水門調査時調査結果の考察

- ・令和7年度の水質浄化実験として、水門操作時調査（排水機場操作も含む）を行ったが、その際の“あけぼの橋”の水質について着目すると、操作前後で下図のようにCODが低下（水質が改善）する結果となった。
- ・他の地点のすべての水質項目で同様の結果になっている訳ではないが、今後も引き続き調査を行い、確認を行っていく。

調査日	調査名	概要
① 7月21,27日	水門操作時調査 (1週間効果)	通常の東・西水門の操作による河川水の入替え時の水質変化を調べる。 (1週間連続操作した場合の水質変化)
② 8月21日	水門操作時調査 (1回操作効果)	通常の東・西水門の操作による河川水の入替え時の水質変化を調べる。 (1回の水門操作の水質変化)
③ 10月4日	水門操作時調査 (ポンプ効果)	境川排水機場と西水門の操作による河川水の入替え時の水質変化を調べる。
④ 12月5,6日	水位低下時調査	潮位が一年で最も低下する時期に東西水門による河川水の入替え時の水質変化を調べる。

あけぼの橋（水面）COD経年変化と施設操作効果



# ①-2 水質調査の今後について[個別活動状況の報告]

- ・これまで約1年間の水質調査により、境川の水質の概ねの状況が把握できてきた。
- ・親水テラスワークショップでは、水の濁りや臭い、ごみなどにより、水質があまり良くないという印象を持つ人が多いことが確認された。
- ・調査結果と地域住民の印象との間に差が見られることから、今後は広く水質調査を市民に開き、また調査結果を分かりやすく共有するとともに、水質や生き物に関する解説など、環境理解につながる要素を組み合わせていくことが考えられる。

## R8年度の活動内容予定

### ①活動の目標

- ・水質調査としては、前年度内容を踏まえて、引き続き調査を実施していく。実施にあたっては、水質調査へ広く市民の参加を募っていく。
- ・市民の関心を高め積極的に巻き込んでいくために、かわまち計画の『多自然川づくりの取り組み』としての生物調査等のイベントも実施していく。

### ②調査内容・スケジュール予定

調査	調査内容	実施時期	内容	場所
水質調査	水質定期調査	(毎月実施)	定点で水質調査を実施	あけぼの橋
	水位低下時調査	5月17日	・潮位が最も引いた際に水位低下した境川の観察 ・水門操作により最大量の河川水を入れ替えたときの水質改善効果を調査	東西水門間
	全国一斉水質調査	6月7日頃	全国の市民団体等の河川水質一斉調査に参加	あけぼの橋、河口付近、旧江戸川
	水門操作時調査	①7月11日 ②7月18日	一週間程度毎日、東西水門を操作する際の水の入替え効果を調査(西水門からの取水)	あけぼの橋 旧江戸川
	河川水滞留調査	8月2、4、6、8日	潮位の関係で東西水門が1週間程度閉鎖した場合の滞留水の水質変化を調査	あけぼの橋
生物調査	生き物調査	4月19日	クリーンアップ終了時にイベントとして実施	親水テラス
	市民祭り	①4月25日 ②4月26日	市民祭りで展示する生物を境川で採取するところを、イベントとして体験させる。	東水門上流テラス付近

### R8年度調査に向けて 境川かわまちづくり(第1期)計画の実施について

境川かわまちづくり(第1期)計画の水・自然環境に関するソフト施策では、河川の水質浄化と多自然川づくりへの取り組みが位置付けられ、各種活動が進められているが、生き物と水質の関係等への配慮が望まれる。

#### かわまち計画ソフト施策 (水・自然環境)

##### ★河川の水質浄化への取り組み(新規事業)

境川利用促進の大前提となる水質浄化のため、上流部の西水門及び東水門の開閉操作の工夫や、境川排水機場のポンプ稼働により水の流れを作るなどの方策を社会実験を通して実施・検証する。

市民参加により川底に堆積している土砂の状況を調査し、この結果を踏まえ、千葉県に対し浚渫工事の実施を働きかける。

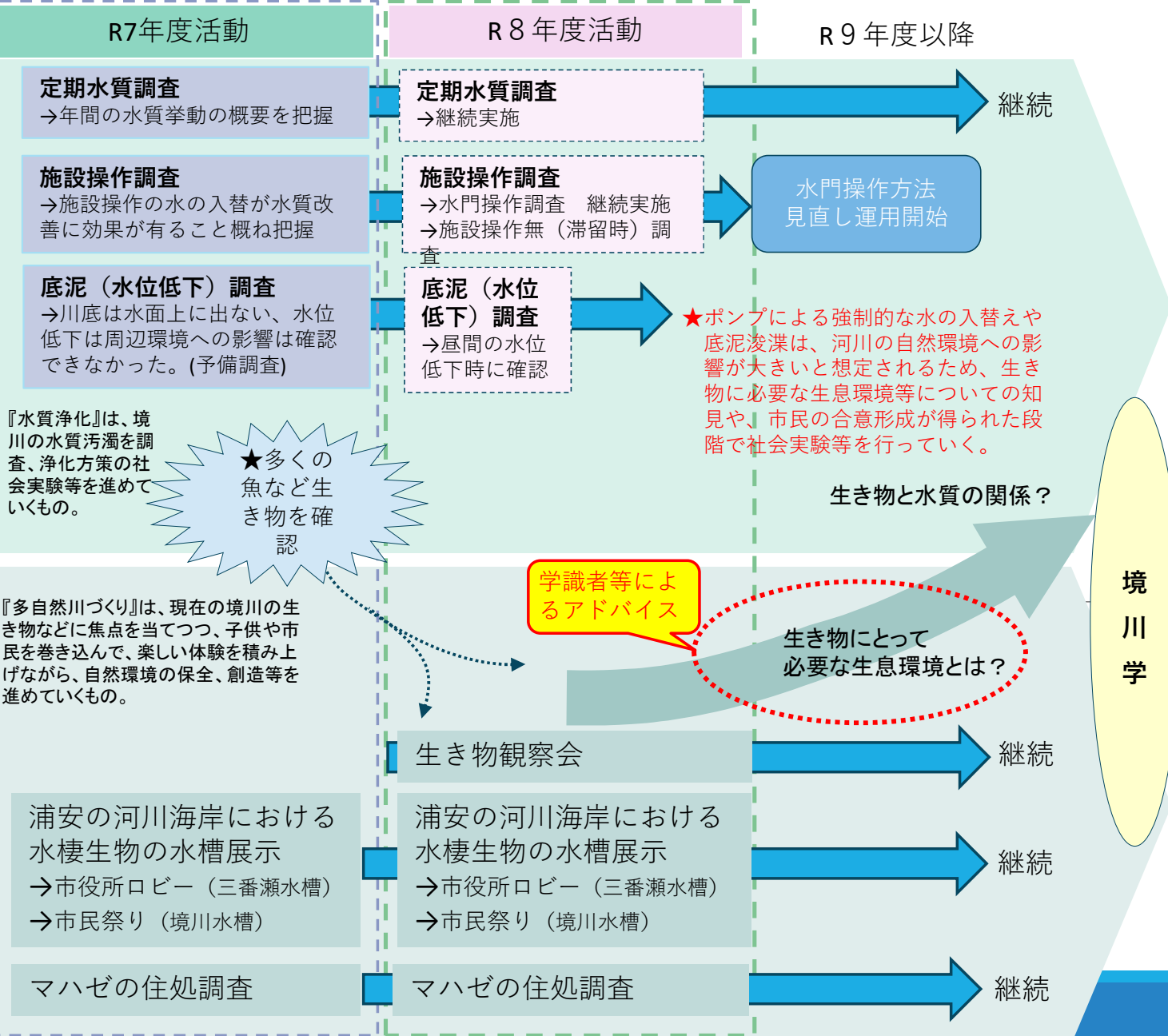
##### ★多自然川づくりへの取り組み(既往事業強化)

市民主体の生物調査や境川の生物を展示する「境川水槽」等の活動を促進し、子供たちを含む多くの市民が、境川の水辺の多様な生物の生態を観察し理解することを手始めに、これらの生物にとって必要な生息環境の維持・保全に努める活動を行う。その一環として現在行っている中高生対象の環境学習である「マハゼの住処調査」など水棲生物の生態調査を促進するとともに、生息環境の保全に努める。

#### 水質調査班

#### 水・自然環境部会

#### 既往活動団体等



かつての境川の自然環境と生物の再生！

境川かわまちづくり計画に位置付けられた上中流域の観光遊覧事業として「歴史ガイドツアー」の実施に向けた検討チームを立ち上げ、関係者によるモニターツアーを通じ、プログラムづくりを進めた。

## 検討部会結成

中心メンバー(+事務局リバーフロント研究所、市役所)  
・郷土博物館、景観まちづくりフォーラム、浦安のべか舟を未来につなぐ会  
関連メンバー(状況に応じ随時参加要請)  
・浦安観光コンベンション協会(浦安市観光の企画・PR・観光案内所運営等)  
・明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部との連携

## コース検討

ガイドメニュー構成検討(歴史観光、治水の歴史と現在等)、コース検討(和船乗船体験、浦安郷土博物館展示、漁師町の食事体験等)

## 資料作成

・モデルコース設定と実施プログラム作成  
・手持ちパネル作成(古地図・古写真等)  
・配布用のブックレット作成

## 歴史ガイドモニターツアーの実施

◆目的: 浦安市形成の歴史を知ってもらうためのツアー内容の検証、今後の運用にむけた参考意見の収集

### ◆実施概要:

日時: 令和8年3月13日(金)9:30~13:00頃

集合: 浦安市郷土博物館 1階ロビー

参加者: 15名(事務局含む)、乗船人数11名(乗船スタッフ含む)

参加費: 500円(弁当代: 現金)

持ち物: 飲み物、タオル 等

### ◆実施内容:

- ① 浦安市郷土博物館での事前ガイダンス
- ② 旧猫実村・旧堀江村の歴史探索(徒歩 約3.3km)
- ③ 境川乗船体験(伝馬船 約1.8km)
- ④ 船上試食(あさりめしおにぎり) & 意見交換会

## 歴史ガイドモニターツアーの実施状況

### 徒歩パート（まち歩き：約2時間45分）

時刻	場所	内容
9:30	郷土博物館	集合・コース説明
9:45	出発	徒歩で猫実地区へ
9:50	あけぼの橋	境川と旧水門
10:00	弁財天入口	弁財天の由来
10:10	弁財天	猫実村の歴史
10:20	豊受神社	浦安の鎮守
10:30	花蔵院	寺院と地域の歴史
10:40	おっばらみ	漁業文化
10:45	道庭	猫実村の町並み
10:50	休憩	トイレ・休憩
11:05	旧浜野医院	医療の歴史
11:10	旧大塚家	旧家と町屋文化
11:25	旧宇田川家	国登録文化財
11:35	青龍神社	堀江村と旧江戸川
11:45	宝城院	寺院
11:50	大蓮寺	浦安の寺院文化
11:55	六人河岸	河岸と舟運
12:05	西水門	水門施設
12:10	蒸気河岸	蒸気船の歴史
12:14	新橋防災広場	乗船体験

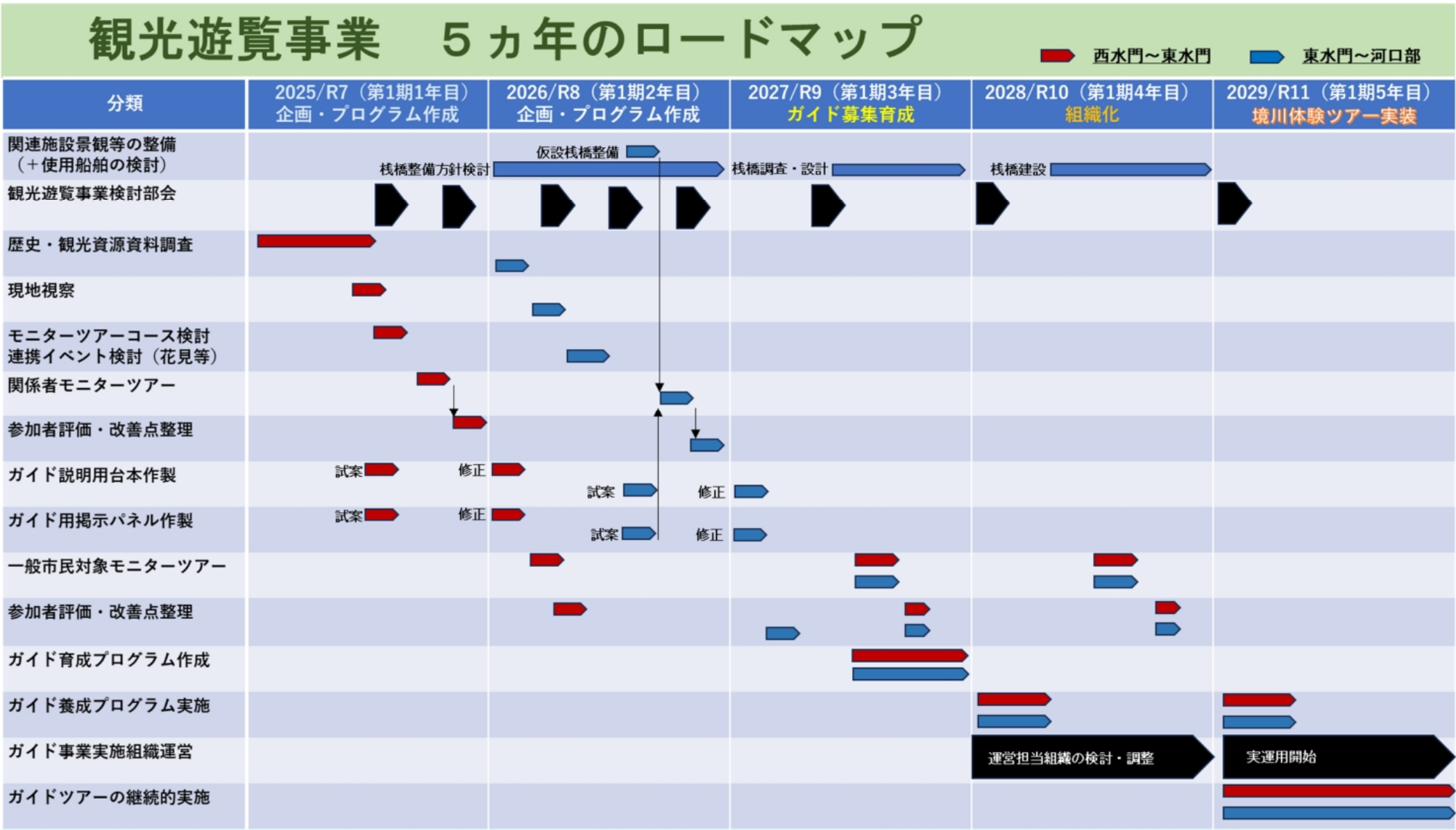
### 船パート（境川乗船体験：約50分）

時刻	場所	内容
12:15	新橋防災広場	乗り込み&試食 開始
12:35	江川橋船溜り跡	船上意見交換
12:55	(移動開始)	
13:05	下船場所	下船
13:10		解散



# ①-2 観光遊覧事業化ロードマップ[個別活動状況の報告]

今後はモニターの対象を広げながら検証を重ね、市場性の確認や人材育成などの検討を進めるなどして、継続的なプログラムとしての展開を検討していく。



## (1) 親水テラスに関する意見収集の実施状況

実施日	方法	対象	意見
7月6日、7日	「境川で天の川」でポストイット・現地アンケート	市民(イベント来場者)	したいこと・どんな場所になるとよいか
12月7日	「境川公園マルシェ」でポストイット・聞き取りアンケート	市民(マルシェ来場者、公園利用者)	望むこと・心配なこと
1月17日	第9回進める会でミニミニWS	市民・活動団体(進める会)	テラスの活用について
2月7日	第1回住民WS	市民(周辺住民)	好きな点・課題・将来像



7月 境川で天の川



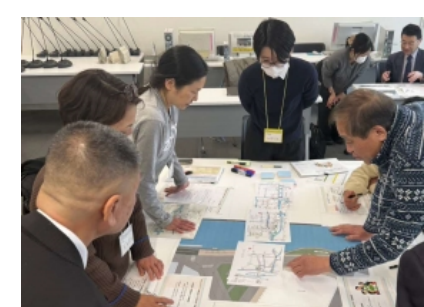
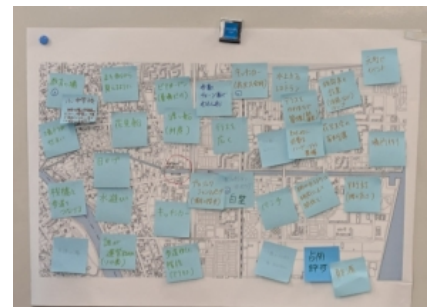
12月 マルシェ



1月 第9回進める会



2月 第1回住民WS



→ イベント来場者、一般来場者、市民団体、周辺住民から意見収集を実施

# ①-2 親水テラスの検討[個別活動状況の報告]

## (2) 主な意見の整理

- ・全意見を類似の意見によって区分し、「活用・雰囲気」「施設・状態」「自然・環境」「アクセス・安全」の4分類で整理(右表)。
- ・薄青は4回すべてで出ている項目、赤字は各回で意見の多かった内容の件数を示す。
- ・それぞれの機会ごとの特徴を下表に整理。
- ・今後は、イベント来場者の意見も踏まえ、周辺住民の意見と、実際の活用を担う団体の意見の双方を融合させ、親水テラスの整備内容および活用の方向性について整理していく。

## 各機会の意見の整理

統合意見	意見収集機会(全意見)				総計
	7月境川で天の川	12月オープンハウス	1月進める会ミニミニWS	2月第1回住民WS	
<b>活用・雰囲気</b>	<b>25</b>	<b>21</b>	<b>18</b>	<b>52</b>	<b>116</b>
飲食・出店・カフェ	14	6	3	4	27
認知向上・目的づくり	1	3	1	16	21
イベント・賑わい創出	3	2	4	11	20
船利用・舟イベント・船着場・水上アクティビティ	7	5	6	2	20
日常利用・リラックス・やすらぎ空間		3		6	9
文化・歴史・地域デザイン		2	2	5	9
教育・学習利用			2	4	6
観光・レジャー・シンボル化				4	4
<b>施設・状態</b>	<b>34</b>	<b>15</b>	<b>17</b>	<b>25</b>	<b>91</b>
ベンチ・トイレ・水飲み場・洗い場等の設備	22	9	1	5	37
テラス・護岸等の修繕更新			3	10	13
設備整備(電源・照明・Wi-Fi・カメラ・倉庫等)	3	3	5	1	12
日陰・休憩空間	9	1	1		11
テラス拡幅・空間拡張			3	7	10
運営・維持管理・ルール		2	4	2	8
<b>自然・環境</b>	<b>8</b>	<b>18</b>	<b>7</b>	<b>52</b>	<b>85</b>
水質・臭気・ごみ・底質改善	2	5	2	21	30
水遊び・親水体験	6	7	4	8	25
釣り・生き物観察・自然体験		4		18	22
景観・修景・緑化		2	1	5	8
<b>アクセス・安全</b>	<b>7</b>	<b>10</b>	<b>8</b>	<b>57</b>	<b>82</b>
安全対策・事故防止	5	9	3	16	33
視認性・開放性改善			3	14	17
動線・対岸連携・回遊性	2		1	13	16
バリアフリー・アクセス改善		1	1	12	14
防災利用・水運活用				2	2
<b>総計</b>	<b>74</b>	<b>64</b>	<b>50</b>	<b>186</b>	<b>374</b>

## 各機会の意見の特徴

回	実施時期・方法	回答者の特徴	意見の主な傾向
①境川で天の川	7月・親水テラス現地で意見募集	イベント来場者(家族連れ・若者・子ども)	水辺を楽しむための活用イメージや雰囲気に関する <b>前向きな意見が多く見られた</b> 。実際の親水テラス空間で募集したこともあり、 <b>水辺での過ごし方を具体的にイメージした意見が多い</b> 。
②オープンハウス・アンケート	12月・対岸公園マルシェ、周辺公園で聞き取り	イベント来場者、公園利用者など幅広い市民	飲食や船、水遊びなどの活用とともに、施設や水質・安全性など、利用にあたっての課題や懸念に関する意見も見られた。
③進める会ミニミニWS	1月・進める会メンバー	市民団体・活動団体	実際の活動や運営を意識した意見が多く、とくに水面活用のための具体意見が多い。設備、安全対策、利用ルールなど、 <b>実現可能性や運営面を踏まえた実務的な意見が多い</b> 。
④第1回住民WS	2月・周辺住民参加のワークショップ	親水テラス周辺に住む市民	<b>日常利用の視点から</b> 、散策、休憩、自然環境、水質、安全など、 <b>生活空間としての親水テラスのあり方に関する意見が多い</b> 。

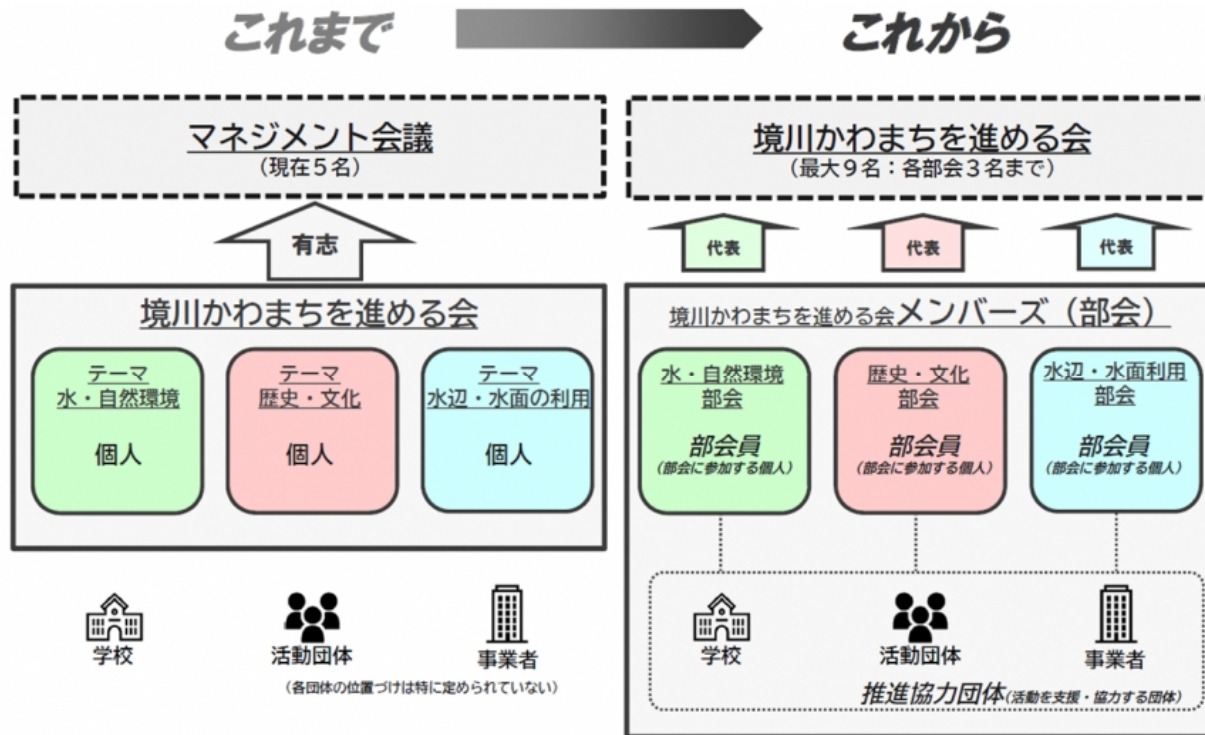
## ② 運営体制について

---

- ②－1 「進める会」の発足と体制
- ②－2 進める会に関するQ&Aの作成
- ②－3 会員登録について
- ②－4 資金運用について

## ②-1 「進める会」の発足と体制

境川かわまちづくりの取組を継続的に進めていくため、地域の関係者による実践組織として「境川かわまちを進める会」を発足した。  
第9回進める会を開催し、旧進める会メンバーへの説明を行い、その場において代表会員6名を選出し、新たな体制としてスタートした。



進める会のイメージ

### 進める会概要

項目	内容
代表会員	6名
部会(メンバーズ)※	
個人	20名
推進協力団体	14団体

※仮登録含む



第9回境川かわまちを進める会

## ②-2 進める会に関するQ&Aの作成

前回の協議会において、進める会の体制や運営に関する質問が多く寄せられたことから、主な質問事項とその考え方について整理し、Q&Aとして取りまとめた。

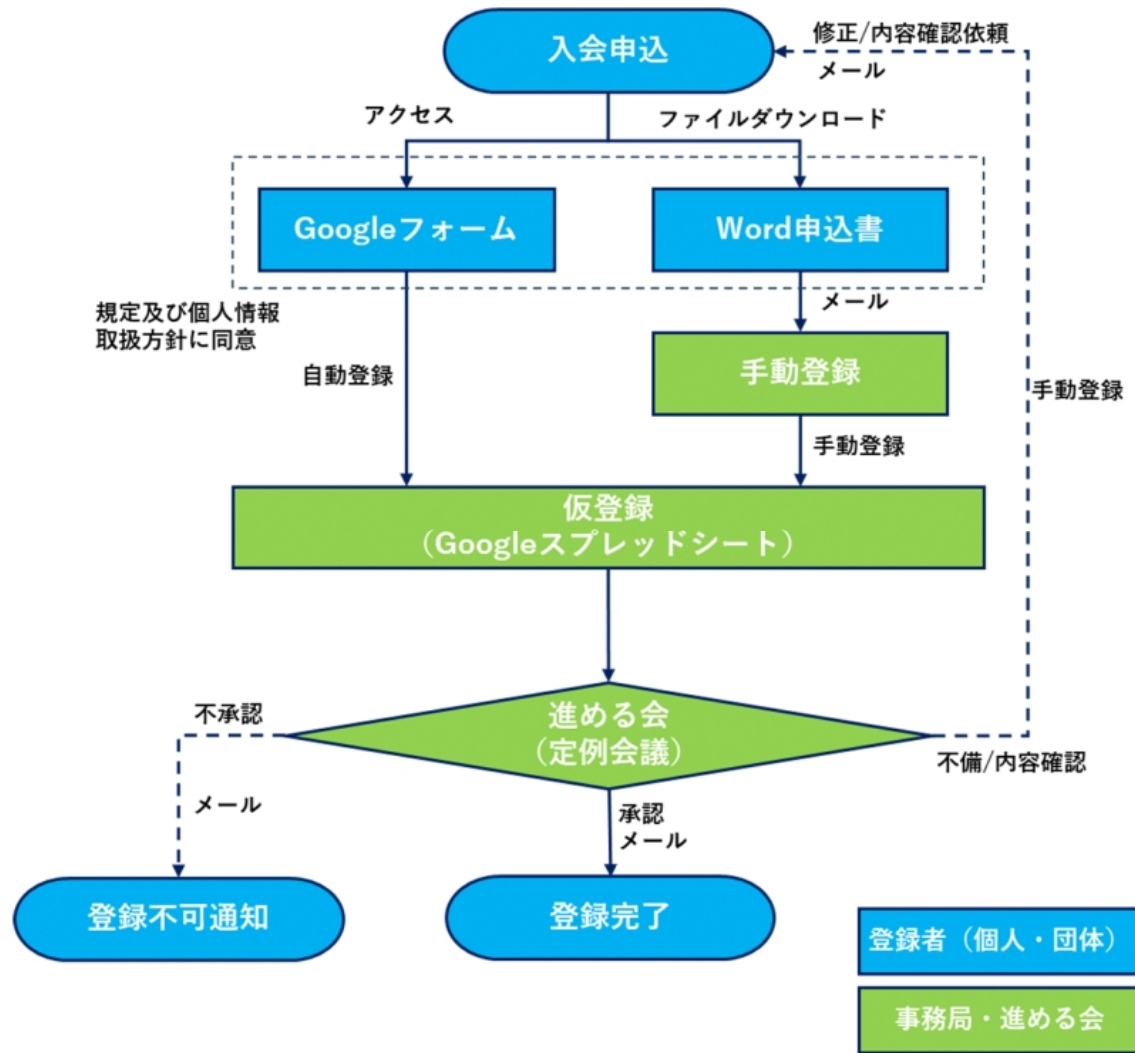
なお、本Q&Aは現時点での整理であり、今後の検討状況に応じて適宜更新していく予定である。

### 進める会に関するQ&A

Q	A
Q1.「境川かわまちを進める会メンバーズ」とは何ですか？	「境川かわまちづくり」を進めるために関わる個人や団体のメンバーの集まりです。
Q2.「進める会」と「メンバーズ」の関係は？	「進める会」は全体の運営方針を検討する役割を、「メンバーズ」は現場での活動や地域とのつながりを担う役割となります。それぞれの立場で連携しながら、かわまちづくりを推進していきます。
Q3.「推進協力団体」とは、どのような団体が対象ですか？	市民団体、NPO、企業、学校、福祉施設、公的機関、自治体など、かわまちづくりに関心のある団体全てが対象です。
Q4.メンバーズへの参加にあたって会費は必要ですか？	無料です。
Q5.個人が推進協力団体の担当ですが、個人としても活動した場合、両方の登録が必要ですか？	必要です。活動を希望する個人が団体の登録担当者を兼ねる場合は、それぞれ登録してください。
Q6.3つの各部会への登録は必須ですか？ 部会の移動や複数の部会への参加は可能ですか？	必須です。最低1つの部会を選択してください。また、登録後の関心の変化に応じて、後からの変更や複数部会への参加も可能です。
Q7.各部会では、どのような活動をするのですか？	現時点では各部会ごとに決められた活動はありません。部会にひもづく個別プロジェクトを行っています(例えば、水質調査は水・自然環境部会のプロジェクト)。個別プロジェクトは、部会員の関心や提案に応じて柔軟に設定する予定です。
Q8.意思決定は、どのようにして行われますか？	各部会の代表者で構成される進める会の「経営会議」にて行われます。
Q9.登録後に、やらなければならないことはありますか？	参加にあたって特別な義務やノルマはありませんが、皆さんの積極的な活動への参加を歓迎しています。継続的に活動ができるよう、事務局も伴走支援を行います。

## ②-3 会員登録について

入会申込は、Googleフォームまたは申込書により受け付け、内容を確認した上で仮登録を行い、その後、進める会（定例会議）において登録内容の確認を行い、承認された場合に正式な会員登録となる仕組みとした。  
この仕組みにより、活動に関わる人材把握や情報共有を行いながら、境川かわまちづくりへの参加の輪を広げていくことを目指す。



会員登録のフロー図

境川かわまちづくり

# 境川かわまちを進める会

## メンバーズ 会員募集中!

境川かわまちづくりとは？

境川を「浦安の背骨」として、川をもっと楽しみ、もっと活かし、まちのにぎわいにつなげる取り組みです。行政・市民・団体・企業が力を合わせ、境川をさまざまな活動が広がる「にぎわいの舞台」にしていきます。

**メンバーズに入るメリット**

- 川の未来づくりに参加できる！  
境川の未来づくりに「参加する側」から「一緒につくる側」へ。
- 地域の仲間とつながれる！  
川やまちが好きな人と出会えます。
- 得意を活かせる！  
企画・デザイン・写真など大歓迎。
- 会費無料で気軽に参加！  
できるときに、できることからOK。など

どんな活動しているの？

- 水辺活用イベント
- 清掃活動
- 乗船体験
- 水質調査

境川で、みんなでキャンバイ！

**登録はこちらから！**

境川かわまちを進める会では、境川かわまちづくりに関心を持つ市民や関係者が参加する『部会（通称：メンバーズ）』を設けています。

**メンバーズ部会員（個人）入会申込フォーム**  
活動に関心を持ち、境川かわまちづくりに関する個人の参加・登録を受け付ける、申込フォームです。

**メンバーズ 推進協力団体（団体）入会申込フォーム**  
活動に関心を持ち、境川かわまちづくりに協力・支援等を行う団体向けの申込フォームです。

問合せ先  
境川かわまちを進める会  
アドレス:sakaigawakawamachi@gmail.com

※取得した情報は、部会活動及びそれに関連する連絡の目的に限り使用し、適切に管理します。

会員募集チラシ

## ②-4 資金運用について

境川かわまちを進める会では、会費、協賛金、寄附金、イベント収入等を財源とした活動を想定する。これらの資金は、水辺空間の利活用や環境保全活動、広報、イベント運営など、境川かわまちづくりの推進に資する取組に活用する。また、資金は進める会の会計において管理し、マネジメント会議等を通じて透明性のある運営を行う。

### <使用料徴収に関する方向性>

- 境川かわまちエリアを利用する団体・個人から、エリアマネジメントに資する費用として、「境川かわまちを進める会」が徴収する。
- 公益性・収益性に応じて「徴収／減免」を判断。
- 推進協力団体が主催/プログラム実施の場合は使用料の減額で対応。

### 主催者タイプごとの支払い主体

タイプ	誰が支払うか	概要
進める会 主催	出店者 → 進める会	従来の出店料にあたる費用を進める会（事務局）が出店者から徴収する。 推進協力団体がプログラム実施者の場合、推進協力団体からも徴収。減免あり。
共催・コラボ	（事前確認の上） 主催団体 → 進める会	進める会の関与度合等に応じて判断。

令和7年度は、今後の資金運用を見据え、「進める会」の銀行口座を開設した。また、3月のイベントより、キッチンカー等の収益活動を行う団体を対象に使用料(出店料)を設定し、徴収を開始した。今後も社会実験を通じて、使用料の水準や運用ルールについて検証を行いながら、制度の整理を進めていく。

### <かわまちづくりエリアにおけるイベント出店料(案)>

- 5,000円(推進協力団体で公益性が認められる団体の場合は3,000円)を基本に、イベントの規模や売上見込み等を踏まえ設定。
- フリーマーケットを開催する場合の個人出店者の出店料は当面1,000円とする。
- 価格については、今後のイベントの実施状況を踏まえ引き続き検討していく。

## ③ 成果と評価について

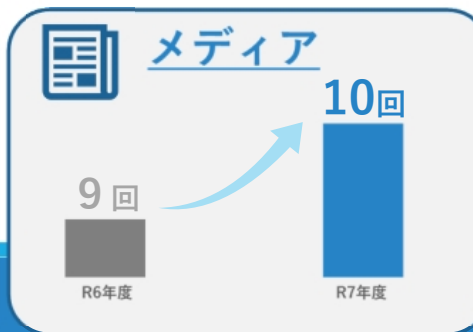
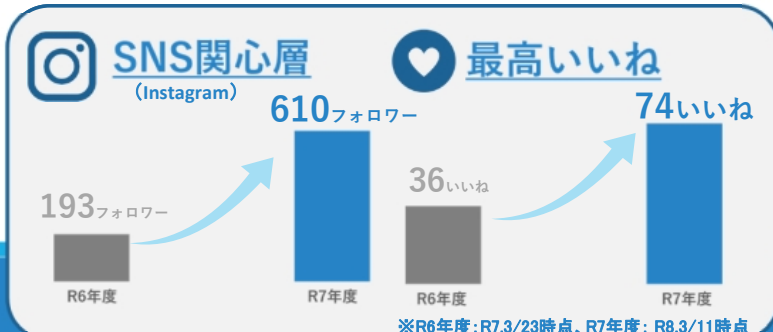
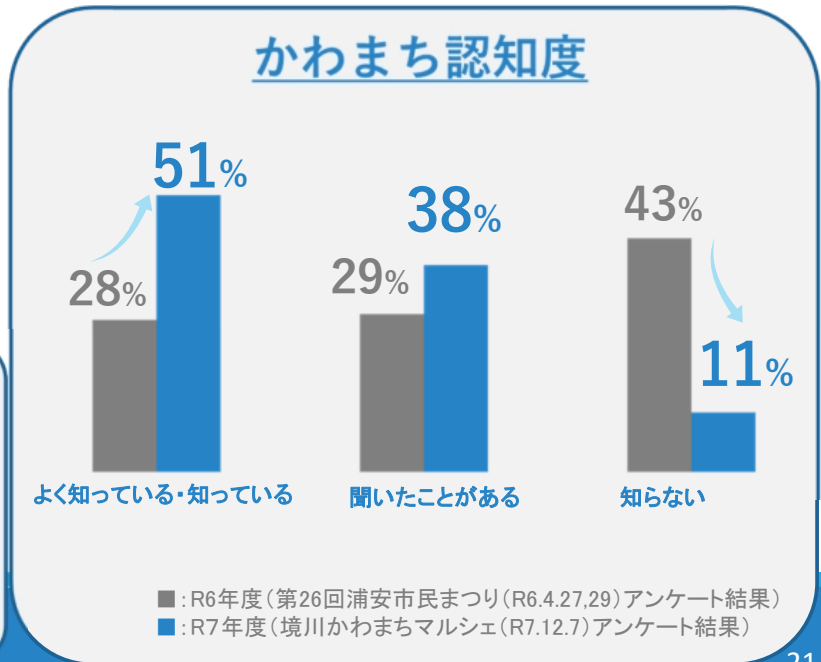
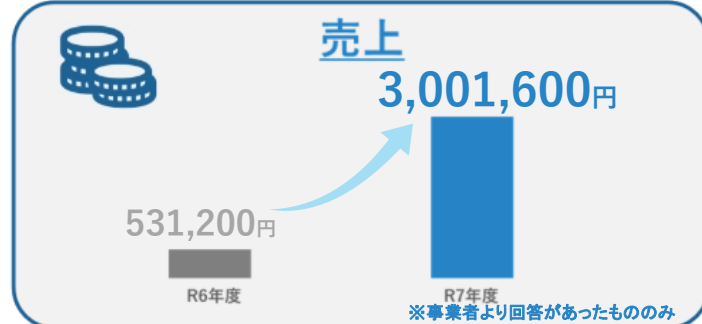
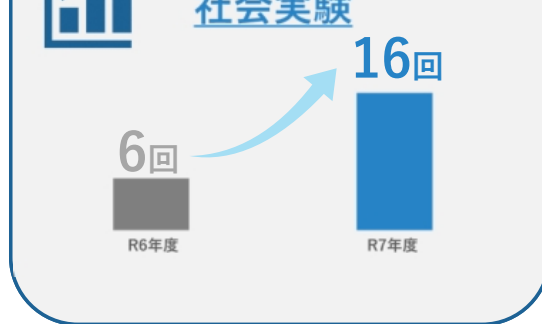
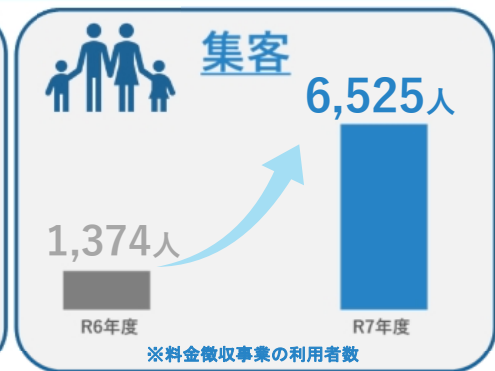
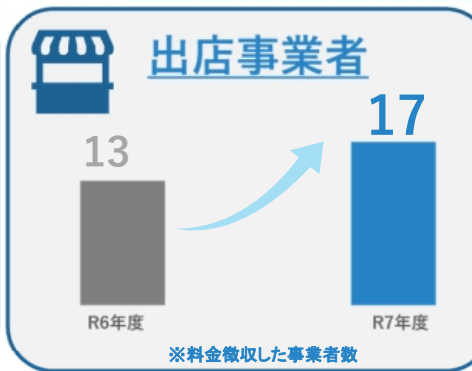
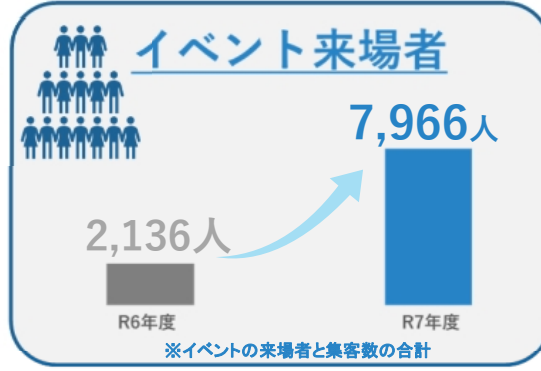
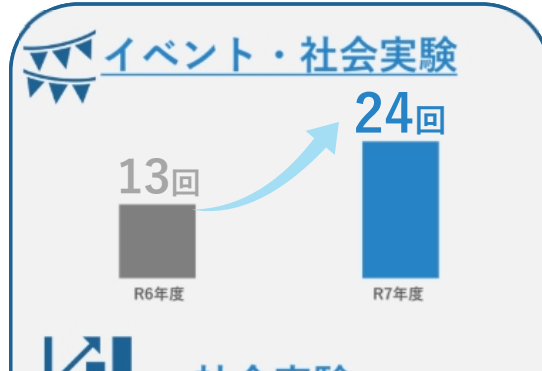
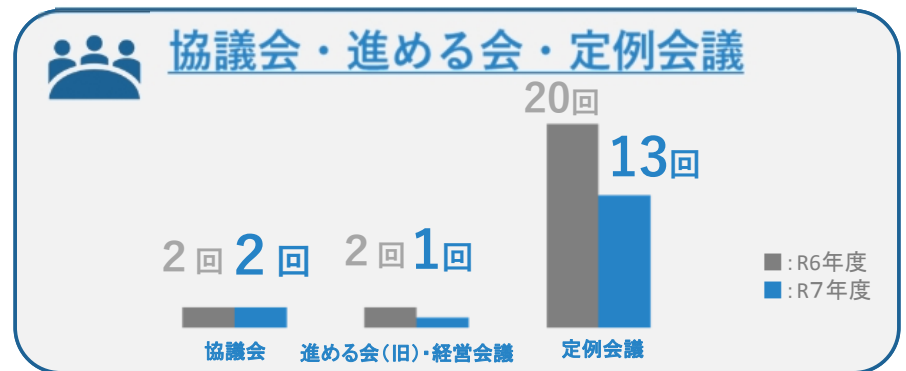
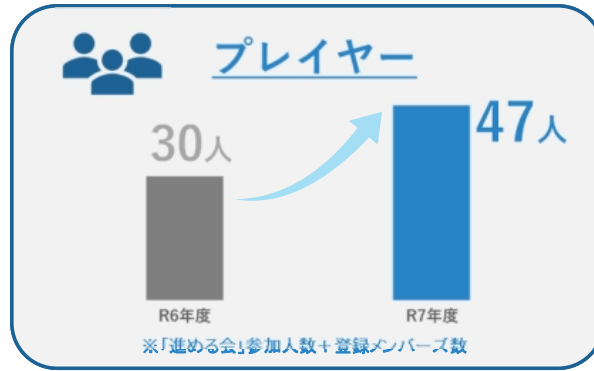
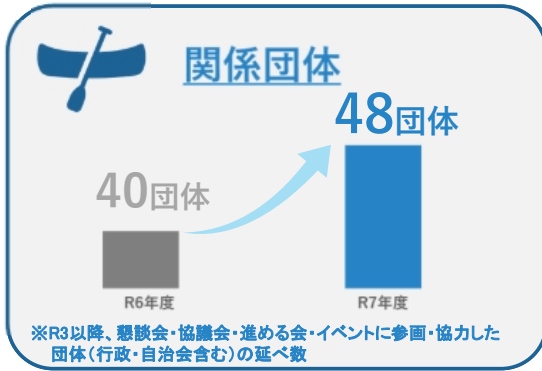
---

③－1 活動成果の整理・比較

③－2 今年度の取組の評価

# ③-1 活動成果の整理・比較

暫定値



## ③-2 今年度の取組の評価

### ① 活動面(社会実験・イベント等)

- イベントとして、既存の取組が定着するとともに、マルシェなど新たなイベントも実施し、定着を目指す。実施エリアとしては、市役所周辺以外の地区でもイベントを開催し、水辺空間を活用した取組が拡大した。
- 新たに水質調査、歴史ガイドモニターツアー、親水テラス検討などの取組を開始し、3つの基本方針の各分野でかわまちづくりの活動領域が広がった。
- イベント来場者数や出店事業者数、売上も増加しており、イベントや社会実験を通じて、境川の水辺空間における事業化の可能性が確認された。

### ② 運営体制面

- 実践組織として「境川かわまちを進める会」を発足し、代表会員・部会を中心とした新たな運営体制が整備された。
- 個人や団体など関係するプレイヤーが増加し、かわまちづくりに関わる主体が広がった。
- 協議会や進める会などの継続開催により、関係者の連携体制が強化され、活動を推進するための基盤が整いつつある。

### ③ 成果面

- 集客数やSNSフォロワー数、出店事業者数などが増加し、かわまちづくりの取組が広がりを見せている。
- メディア掲載もSNS発信により、対外的な情報発信の機会が継続的に確保されている。
- かわまち認知度については、「よく知っている・知っている」が約半数を占める一方、「聞いたことがある」「知らない」と回答する層も一定数存在しており、今後も継続的な周知・広報の取組が必要である。

以上より、令和7年度は「活動の拡大」「運営体制の整備」「認知の向上」が同時に進み、境川かわまちづくりの基盤形成が進んだ年度と評価できる。

## ④ 今後の予定

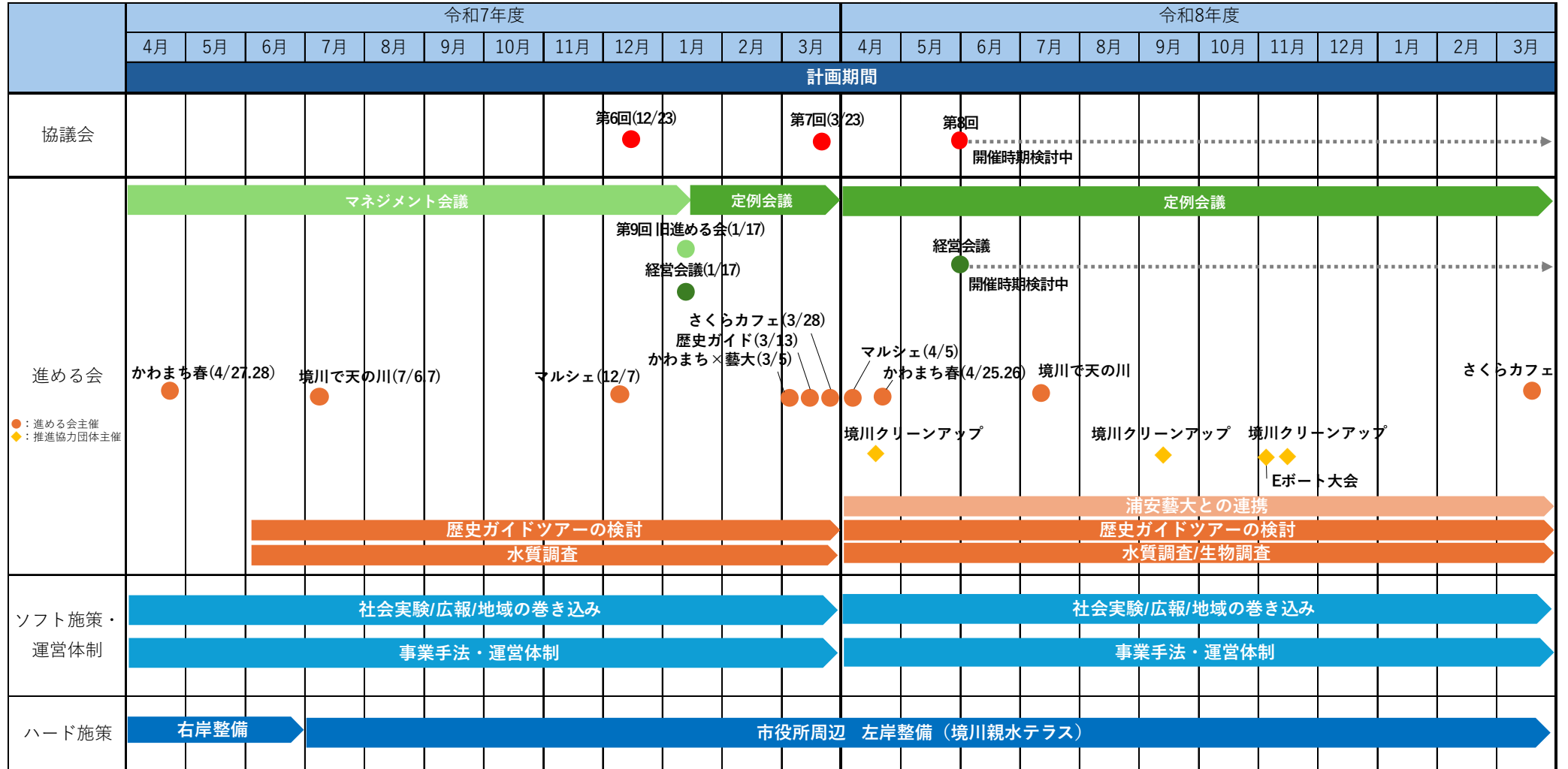
---

④－1 来年度のスケジュール

④－2 今後のイベント紹介

# ④ -1 今後の予定

- 「境川かわまち推進協議会」および「境川かわまちを進める会」を継続して開催するとともに、定例会議を定期的実施し、社会実験の実施、広報の充実、地域の巻き込み等を検討する。
- 進める会主催によるイベントや水質調査を継続的に実施するとともに、藝大との協働など多様な主体と連携し、計画の推進を図る。



## ④ -2 今後のイベント紹介

元町・中町・新町それぞれの地域において、社会実験を実施・開催していく予定である。

境川沿いの3つのエリアで、  
境川かわまちづくりのイベントを連続開催します。  
アート、カフェ、マルシェ、内容はそれぞれ違っても  
「境川をもっと身近に、もっと楽しく」は共通テーマ。  
詳細は順次発表。  
まずは日程をチェックして、ぜひご予定ください。

これからの  
スケジュール(予定)

第1弾	第2弾	第3弾
3/7(土)	3/28(土)	4/5(日)
かわまち×浦安藝大 (ポンプ場でアート&賑わい)	さくらカフェ& かわまち感謝祭 (野外でかわまち年間報告会×カフェ)	境川かわまちマルシェ (境川公園で第2回マルシェ)
新橋周辺 [元町地域]	明海の丘公園 [新町地域]	境川公園 [中町地域]

問合せ  
主 催: 境川かわまちを進める会  
主 役: 浦安市  
アドレス: sakaigawakawamachi@gmail.com

イベント開催の詳細は、  
順次発表予定！  
境川かわまちづくりのInstagram等で  
最新情報をお知らせします。

境川かわまちづくり  
公式Instagram

3月開催イベント告知チラシ

### 境川みんなのかわまち春



ページID K1044083

更新日 令和8年1月15日

印刷

イベントカテゴリ: イベント

浦安市では、河川管理者である千葉県と連携しながら、市民や関係団体とともに地域の大切な資源である境川を軸としたまちづくりを進めていくため、「境川かわまちづくり」に取り組んでいます。

このたび、「境川かわまちづくり」の一環として、市内外の方々も境川に触れることを通じて、より一層境川での取り組みへの関心を高めてもらうことを目的に「境川みんなのかわまち春」を開催します。

日付	令和8年4月25日(土曜日)、4月26日(日曜日)
開催時間	午前10時00分 から 午後4時00分 まで 注記: 雨天など、当日の気象状況により中止などの判断をします
場所	境川周辺(東水門からしおかぜ歩道橋の間)
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ べか舟やEポート、カヌーなどの乗船体験</li><li>・ 境川周辺のまち歩き</li><li>・ 飲食テントの出店</li></ul>
注意事項	予告なく内容を変更・中止する場合があります。

#### 同時開催事業

- ▷ 第28回浦安市民まつり
- ▷ 第50回浦安植木まつり
- ▷ [消防広場](#)

## ④ -2 今後のイベント紹介 みんなdeかわまち(かわまち×浦安藝大)

### 目的

本事業は、境川の利活用を促進することで、まちの賑わい創出を図る「境川かわまちづくり」の社会実験として実施するものである。実施場所となる新橋横テラス護岸は、令和3年度に整備が完了し、元町地域の境川沿いにおいて、広々とした親水空間が確保されている数少ない箇所であり、併設された新橋横ポンプ場の壁面アートと併せてシンボリックな景観を成している。この空間を「境川かわまちづくり」の元町地域の拠点として活用していくための皮切りとして、これまでに道路整備課で取り組んできた社会実験を同日に並行して行うことで、市民、地域団体、事業者が緩やかにつながり、世代や分野を超えた交流を生み出すとともに、水辺空間を日常的に楽しむ文化を育むことを目標とする。

日時 令和8年3月7日(土)午前11時～午後13時頃

場所 境川新橋横テラス及び新橋横ポンプ場

### 内容

- ・管理用通路を活用したキッチンカー・縁日の出店
- ・「境川かわまちづくり」啓発ブースの出展
- ・新橋横ポンプ場を活用したワークショップ(アートプロジェクト)
- ・乗船体験(伝馬船、べか舟)

### ■ 集客・周知に関する課題

企画内容自体は来場者から概ね好評であった。一方で、会場周辺の人通りが少なく、来場者数の確保に課題が見られた。

### ■ 地区特性を踏まえたイベント内容・広報手段の検討

当地区で初のかわまちイベントとなったが、地域との連携や広報手法の見直し等、地区特性を踏まえた改善が必要。

### ■ 関係団体との連携

浦安アートプロジェクト「浦安藝大」での東京藝術大学との連携や、キッチンカー連絡協議会との連携による初のイベントとなった。今後も連携を強化していく。



伝馬船



べか船



出店(キッチンカー・縁日)



ポンプ場アートプロジェクト



ポンプ場アートプロジェクト



かわまちブース(パネル展示)